

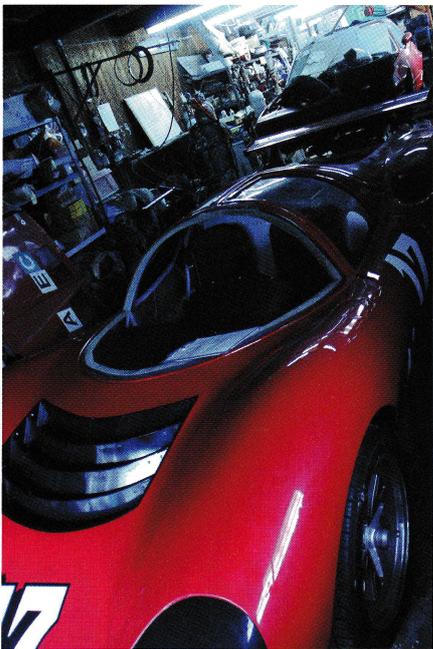
先

月号で色々とお話をうかがって見た結果、やはりこのスピードスター・フェアリング（仮称）装着時の簡易型ソフト

トップのプロトタイプ製作に関しては、ノーチラススポーツカーズの古川健一郎さんをお願いすることになりました。やはり企画の意図が伝わりやすい方にお願ひするのが一番確実ですからね。今回のソフトトップの用途はあくまで、出先で予想外の雨に降られたとあったときのため、つまりエマージェンシー用の装備という考えなので

耐候性に関しては最初から程々、つまり室内がずぶ濡れにならないければOKだと考えることにしました。

しかし、ソフトトップ本体とフレームに関しては常時携行できる程度のサイズ、つまりフェアリングの下かフロントのトランクに収納しても邪魔にならないサイズでなければ意味がありません。当然のことながら、このソフトトップを使用しなければならぬ状況（＝恐らく緊急時でしょう）ということも考えると、誰でも間違いない、かつ短時間で装着できるような単純な構造



この日、取材にお邪魔したら、工場の中にあのディノ・レーシング・スペシャル（ヤタベRS）が戻ってきていました。実は筑波のイベントに間に合わせるために急遽形にしなければならなかったもので、まだまだ完成ではなく、何とか走れる程度の状態だったので。これから細部の仕上／調整に入り、完成後は某ミュージアムに展示されることになっています。

ポルシェ964カブリオレMT車

新車に戻すぞ How Much?

簡易式ホロ製作作戦第2弾
頭の中では5分で製作完了だ!

964が値上がる前に格安で手に入れたカブリオレMT車。様々なトラブルに見舞われ、かつスピードスター仕様にするなど、気付けば車両代より修理代の方が高くなってたりして…。そして先月から始まった簡易式ホロの製作。新品ホロも到着したので、まずは純正ホロを分解してみる。

文●半谷範一 取材協力●スピードジャパン (tel:0586-67-3357 <http://www.speedjapan.co.jp>)

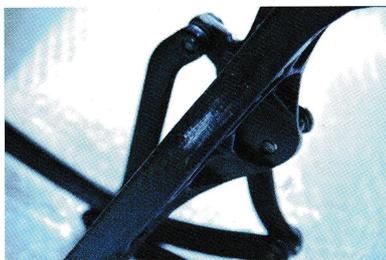
でなくてはなりません。

さらには実際に量産（もちろん、それほど沢山売れるとは思っていません）したときに、どうせならフェアリングのキットと一緒に注文しておこうかな？ と考える程度の価格に抑えることができなければ、商品としての成功は望めないでしょう。

コスト的な制約も考えた結果、とりあえずソフトトップその物に関しては国内で専用部品をワンオフ製作することは諦め、社外品として市販されている製品を流用する方法を試してみることにしました。今回選んだのは、アメリカ等で販売されているリブレイスマン用の製品。内張りもなく、ワンピースタイプの最も安くても簡素な仕様です。でもこれなら収納時には小さく畳めますし、プロトタイプの製作時にも気兼ねなく加工できるので、今回の目的には最適といえるでしょう。

市販品を流用することのもうひとつの利点は、幌骨との位置関係が基本的に純正ソフトトップのフレームと同じで良いという点。つまり、純正ソフトトップを分解すれば、そのまま新しい幌骨を製作するときの治具として利用できるわけです。というわけで、以前ハードトップ装着時に取り外したフレームも、ノーチラスさんの工場に運び込むことにしました。今回、さっそく純正ソフトトップをバラしてみても分かったのは、実際には純正ソフトトップはパイプのようなフレームで構成されているのではなかったこと。

しかし、古川さんの頭の中には、すでに完成予想図があり、どうやらそれは私達が当初考えていた物より遙かに本格的な物である様子。今回はその概略を紹介できるかな？



ルーフ上部はなんと鉄! 幌骨はアルミ合金製!

どんな構造が知りたくて純正ソフトトップをバラしてみた。予想外の事実が判明しました。布を剥がしてみたらルーフ部分の本当の開口部は思ったより狭く、大半は金属でカバーされていたのです。幌骨のみの状態でも、むしろタルガ辺りの方が解放感がありそうですね。さらにルーフ上部の素材は樹脂でもアルミでもなくなんと鉄製! 逆にBピラー部分のメインの幌骨は鉄ではなく、鍛造と思われるアルミ合金製! でした。以前、調整不良だと曲がるのではなく折れると聞いて違和感を覚えましたが、この素材なら当然ですね。



実際にホロが装着されるとこんな感じになります

先月も書きましたが、ノーチラススポーツカーズは古川さんがたった一人で主宰している工房です。そこで、この取材の機会にハードトップの取り外し等、人出が必要な作業をしておくことにしました。今回スピードジャンがテスト用に取り寄せたソフトトップはアメリカのサードパーティー製品で、小澤社長曰く「流用し易そうなワンピース構造で一番安いヤツ」とのこと。しかし、実際はこのように決して安っぽい質感ではありませんでした。車両価格を考えると、このレベルも当然なのかな？

